



## 令和2年 第3回 / 第4回臨時会・全員協議会



議会の眼 主塔の改修が完了した桃介橋

### 第3回 / 第4回臨時会…………… 11p

○令和2年第3回臨時会は7月16日の1日間の会期、第4回臨時会は8月3日の1日間の会期で開かれました。

★決まった議案一覧…………… 11p

☆6月期補正予算(第4号)を可決…………… 12p

☆各種委員会報告…………… 13p

☆全員協議会…………… 14p

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
- 豪雨災害(7月16日 / 8月3日全協)
- ユーアイ住宅建設 ○ 特別定額給付金
- 木曾地域の高校の将来像を考える協議会
- 南木曾町交番での運転免許証返納手続き
- 「地域支えあい商品券・プラス交通食事券」給付
- 令和2年度南木曾町成人式の延期

## 7月臨時会 可決議案一覧表

専決処分案件	賛否
● 令和2年度 補正予算 (第3号)	・6月14日豪雨によるもので、9万6千円増額し、総額45億4050万4千円となります。 全員賛成
予算関連議案	賛否
● 令和2年度 補正予算 (第4号)	・一般会計の補正は1億2852万2千円増額し、総額46億6902万6千円となります。 審議内容掲載P.12~ 全員賛成

## 8月臨時会 可決議案一覧表

一般議案	賛否
● 令和2年度南木曾小学校・中学校教育用情報機器の購入	取得金額：2816万1870円 契約の相手方：株式会社マルマツ 全員賛成
● 令和2年度南木曾町社会体育館移動式バスケットゴールの購入	取得金額：822万8000円 契約の相手方：メディアック株式会社 全員賛成

### 8月臨時会 可決議案

#### 教育用情報機器 購入について

**Q** タブレット300台導入の目的と家庭の通信環境は。

**A** 当初はICT教育として令和5年度までに一人一台整備する計画でしたが、コロナ対応により計画を前倒しました。

家庭での遠隔学習を想定しており、現状の通信環境は調査中ですがほとんどの家庭でネットに繋がります。

機種はセキュリティーソフトを備えた文科省の応用パッケージ、5年補償版で、通信費は家庭負担となります。

**Q** 先生の対応が大変だ。人材配置などの支援を。

**A** 研修会や巡回の指導員などで支援しますが、専門的な指導員の配置はありません。

# 7月補正予算審議概要

令和2年6月期予算（一般会計、特別会計）が可決されました。

補正予算は主に新型コロナウイルス対策であり、国からの地方創生交付金の使途についての提案と質疑がなされました。

## 新型コロナウイルス 感染症関係

◆国保税の減免による還付金の補填は

**Q** 令和元年度分の国保税の還付金を増額している。住民からの減免申請の状況と、還付金に対して国の補てんはあるのか。

**A** 現在、減免申請による還付状況は、11件程で40万円程の額となっております。減免における減収分は全て国から補てんされるので、金額が確定した段階で予算措置をします。

**要望** 国保税の減免措置について、しっかりとした広報を要望する。

◆特別定額給付金の対象拡大を

**Q** 特別定額給付金の申請期間は4月27日から8月17日となっている。申請期間中の妊婦の胎内にいる赤ちゃんは対象にならないのか。

**A** 住民票のある者が条件のため、対象外となりますが、町としての対応を検討させていただきます。

◆木曽病院への交通は

**Q** 交通弱者対策（通院バス）は来年度からどうなるか。

**A** 木曽病院線は広域連携事業として実施してきましたが、利用実績は大桑村が一番多く、次いで南木曽町で、上松町と木曽町はほとんど利用がない状態です。こうした実態状況を踏まえ上松町と木曽町は広域連携事業から外れることになりました。

大桑村と南木曽町で協議をし、大桑村は利便性の良い方法での独自運営、南木曽町も臨時交付金を



木曽病院のバスのりば

活用した独自運営を計画しています。なお、大桑村との連携は引き続き検討し、来年度の運行について今年度中に決めたいと考えています。

◆社会体育館

◆社会体育館事務所の空間確保工事は、どのように空間を確保するのか。

**A** 事務所にはチャレンジクラブ職員2人と、派遣した町職員の合わせて計3名がいます。

工事内容としては、新たに倉庫を別途購入して屋外に設置し、事務室内の物品を屋外倉庫に移し

ます。その上で事務室内のパーテーションを取り外して事務所の空間を広げる計画です。

◆観光対策としての

**Q** 公衆トイレの自動水洗化工事は何箇所、工事の完了時期は。

**A** 対象となる観光地のトイレは20箇所です。工事自体は時間がかからない内容であり、予算承認後の早急な着工を考えています。

**要望** 工事は町内業者への発注を要望する。

◆Gotoキャンペーン

への見解と対応策は

**Q** 7月22日から始まるGotoトラベルキャンペーンについての町の考えと、歓迎する場合の感染対策は。

**A** 実施には慎重な意見もあり、様子を見ながらも国の意向や対応に沿って進めていきたいと考えています。また、事業者の皆さんなどの意見を傾けたうえで対策をしっかりと行いながら進めていきます。

観光客が増えることをふまえ、感染防止受入環

境整備支援金を予算計上しています。事業者の皆さんが飛沫防止のパーテーションなど感染防止設備を設置する場合に利用できます。

町としても感染防止対策を取りながら選ばれる観光地になるようにしたいと考えています。

◆観光地における

**PCR検査は**

**Q** 観光施設利用者のPCR検査は。

**A** 現在、発熱外来や、かかりつけ医に相談をしたうえで検査はできませんが、観光対策としてPCR検査を受けられる体制にはなっていない。

**Q** 熱や一定の症状がないと保健所での検査が受けられないようだが、熱が出てからでは遅いので、町としてPCR検査の体制を確立できないか。

**A** 高齢者や子ども、不特定多数の観光客に接する事業者や従業員などから検査の希望者が出てくると思われるが。

**A** 現在、保健所や医療機関で認められた人しか受けられない状況です。

木曽郡内の入院できるベッドは4床であり、医

療崩壊が発生しないよう慎重な対応を取っていると思われまます。不安から検査を受けたという要望は、保健所に伝えた中で今後の対応を考えていきたいと思えます。

**要望** 希望者が検査を受けられるような体制を整えていただきたい。

◆感染出現への対応は

**Q** 町で感染者が出た場合の対策と、財源は特別交付金などを活用するのか。

**A** 対応は保健所が関わってきます。また地方創生臨時特別交付金は国から示されている範囲で利用できるかと考えます。

**要望** 病院以外でも検査が受けられる体制を作ることなど、住民の不安解消を含め地方から国に声を上げて欲しい。また、PCR検査を受けた町民に対しての町から支援を求める。

## 放課後子ども教室

◆放課後子ども教室の工事内容などは



**Q** 放課後子ども教室の利用者数、また、3密にならないための必要スペースは、  
**A** 現在の利用者数は平均25名で、小学校の体育館や音楽室、グラウンドを併用しています。  
 増築する建物については、3密を解消する以外に、一時的

**Q** 放課後子ども教室の面積や配置などは、  
**A** 現在の建物「なぎそっこ」の南側（校舎側）を増設します。これから具体的な設計に入っていきますが、10〜15坪程度の大きさを考えています。また、既存建物は軽量鉄骨造の1棟完結型で設計されています。壁面を抜くことが難しいので別棟とし、連絡通路を設けることが望ましいと考えています。設計事務所との打ち合わせにより検討します。

**Q** 放課後子ども教室の完成時期が年度をまたぐ場合、年度繰越は可能なのか。  
**A** 臨時交付金は、国の第2次補正予算では繰越し可能となっております。



増設予定場所

既存の放課後子ども教室「なぎそっこ」

**要望** サポーターが待機する部屋の設置をお願いしたい。また、雨の日の送迎のための屋根を設置してほしい。

**Q** 建物が見守りのスタッフを増やす必要があるのか。  
**A** 今回のコロナ禍により、具合の悪い子どもが迎えがあるまで別室で休む必要がある時など、今までの子ども教室の対応とは違う条件が加わってきており、色々なことに対応できる機能を検討していきたいと思っています。

に気持ちが高ぶってしまった児童のクールダウンの利用も想定しています。

## リニア新幹線対策特別委員会報告

### ●8月3日のリニア対策特別委員会

8月3日、リニア新幹線対策特別委員会を開催しました。会議の内容は、次のとおり。

- ①町の担当者による JR 東海の資料に基づく、7月に吾妻の各地区で行われた「中央アルプストンネル広瀬工区」の工事説明会の内容説明。
- ②第29回南木曾町リニア対策協議会の協議事項
  - ・工事車両の通行等に関する確認書（案）について
  - ・発生土置き場候補地について

### ●阿智村議会とのリニア対策特別委員会合同会議を開催



(写真①)

8月24日、毎年行っている阿智村議会と南木曾町議会のリニア対策特別委員会の合同会議を開催しました。

今回は阿智村の清内路振興局（旧清内路中学校）で行い、午後2時半～4時頃までの会議では、阿智村熊谷義文議長、南木曾町山崎隆二議長および阿智村熊谷秀樹村長のあいさつに続き、各町村のリニア計画における最近の動向や両委員会の活動状況などが報告され、意見交換を行いました（写真①）。

会議に先立って中部電力の清内路水力発電所工事に伴う小黒川残土置場の現地視察を行い、中部電力の担当者から残土置場の説明を伺いました（写真②）。

#### 【会議の中から】

- ・阿智村でのトンネル発生土70万㎡全てを置く場所については、現在検討中の状態である。
- ・中電の発生土置場の現地視察と説明は有意義であった。
- ・阿智村で行って来た発生土置場の学習会については、計画を知り、住民理解を深める上でも大事ではないか。
- ・山口工区のトンネル崩落の原因が不透明だが、先進坑を設けたのはその反省ではないか。
- ・「南木曾町リニア活用基本構想」はコロナ禍で新しい対応が必要では。
- ・JR 東海の現地常駐が必要ではないか。

（文責：赤坂孝 委員長）



(写真②)

# 令和2年度 木曽郡町村議会議員総会

8月5日、令和2年度木曽郡町村議会議員総会が上松町ひのきの里総合文化センターで開催され、郡内6町村の議会議員が一堂に会しました。

## 総会提出議題

総会では、各町村から以下の五項目の議題が各町村などから提出され、全て承認されました。

1. 木曽地域における高度情報通信網の活用を期する(南木曽町)
2. オンライン教育・テレワークの整備促進を期する(木曽町)
3. 木曽地域の医療体制の維持・充実を期する(上松町・木祖村)
4. 太陽光発電施設設置に係る許可基準の見直しを期する(大桑村)
5. 新型コロナウイルス感染症対策を期する(町村議会議長会)
6. 木曽地域の道路交通網の整備を期する (町村議会議長会)

※注：( ) 内は議題提出町村など

## 研修会

研修会では、講師 中田耕平氏による講演会が行われました。

演題 「野生鳥獣対策活動報告」

講師 中田 耕平 氏



左：南木曽町議会の議題を発表する赤坂議員  
右：中田耕平氏による講演の様子

## 全員協議会

議会と町の意見交換 (7月16日・8月3日)

南木曽町交番での運転免許証返納手続きができるようになりました(8月3日全協)

### 説明概要

町では木曽警察署への要望を毎年行ってきましたが、この度、一定の基準を設けたうえで認められました。

※詳細内容は、広報なぎそ先月号5Pに掲載



南木曽町交番

## 木曽地域の高校の将来像を考える協議会

(7月16日全協)

### 説明概要

平成30年9月に県教委の実施方針を受け、31年1月に本協議会を設置しました。

設置以降、会議を3回開催し、昨年8～9月に同窓会や保護者、校長、産業界関係者などへの意見聴取をしました。

今年7月15日には第4回会議を開催し、「木

曾地域の高校の将来像についての意見・提案書(素案)」の協議がされました。

今後、8～9月にパブリックコメントを募集し、地域住民から意見を聴き、10～11月に予定をしている第5回会議で成案を決定し、今年中に県教委に提出する予定です。

## 「地域支えあい商品券プラス交通食事券」給付(8月3日全協)

### 説明概要

南木曽町に住民登録のある方全員(基準日時点で1726世帯、4043人が対象)に、1万円分の「地域支えあい商品券プラス交通食事券」を給付し、地域経済活性化・買物弱者を支援します。利用は8月上旬から10月末までの期間で、8月上旬に各世帯主へ簡易書留で郵送します。

※詳細内容は、広報なぎそ先月号2Pに掲載。7月16日の町議会第3回臨時会で承認されました。



商品券



交通食事券

## 令和2年度南木曽町成人式の延期

(8月3日全協)

### 説明概要

令和2年度成人式は8月14日に開催を予定していましたが、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大している状況をふまえ、令和3年1月9日(土)に延期することになりました。



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金  
(7月16日全協)

説明概要

地方創生臨時交付金について、国の第二次交付限度額が示されました。

町には、1億9143万9千円（事業継続などへの対応分として2540万2千円、「新しい生活様式」などへの対応分として1億603万7千円）が第二次交付限度額として示されました。国庫補助事業の町負担分に交付される第三次交付限度額については、まだ示されていませんが、町として計上している金額は1700万円です。

質疑 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関係

●事業者への支援

**Q** 国の持続化給付金の対象にならない事業者に対して、町独自で支援できないか。また、4月に起業した場合の対策は。

**A** 予算内で対応可能か検討していきたいと思えます。持続化給付金の対象者には、新規起業者やフリーランスの方も含まれています。

**Q** 他の自治体では、所得の減少率ではなく金額の減少に応じて支援を行っている。大変な状況は様々であり、支援の幅を広げることが重要では。

**A** すでに持続化給付金の上乗せ支援を行っており、町としては減少率で進めていきたいと考えています。幅広い支援をと考えており、すでに始まっている継続支援給付金について、減少率をどこまで引き下げられるか検討していきます。

●個人への支援

**Q** 6月12日の全員協議会で、生活困窮家庭や個人への支援を要望したが検討されたか。

**A** 町としては「地域支えあい商品券」の給付で対応します。国、県の支援策を利用しながら、今後も引き続き検討を進めます。

**要望** 前回給付された商品券は、住民から「嬉しかった」との声が多い。

一人親世帯や要保護世帯、コロナ禍の影響で離職された方など、本当に困っている人への支援をお願いします。現金給付や商品券だけでなく、住宅家賃や水道料金の減免なども前向きに検討し実施してほしい。

(注：「地域支えあい商品券プラス交通食事券」については、なぎそ議会だより今月号14Pを参照)

●放課後子ども教室の増築

**Q** 放課後子ども教室を増築するのは。

**A** 実施計画の3ヶ年計画では令和3年の計画でしたが、今回の臨時交付金を利用して前倒しで行います。既存建物の裏側（校舎側）に増設するように考えていますが、設計の詳細はこれからです。

**Q** 他の空いている施設や地域に子どもを戻すことも考えていただきたい。

**A** 今回の増築に合わせて、既存施設や人員体制を工夫しつつ、分散の考え方も研究していきたいと思えます。

(参照：なぎそ議会だより今月号12P 7月補正予算審議内、項目「放課後子ども教室」)

●事業全般

**Q** 今回示されている実施計画の規模は。

**A** 8200万円が9月補正に向けて検討していく財源です。皆さんからの意見を各課で検討していきます。

**Q** 給付金が増加するなど、財源が不足しないか。

**A** 今回12事業が新たに増えました。この実施計画を、県には9月15日くらいに、国には9月30日に提出します。この時点で事業の最終決定となります。

事業を進めていくと事業費の増減も分かってきます。事業間の流用も認められており、交付限度額いっぱい活用できるよう検討していきます。

**Q** 今回示された事業は、主に3密対策となっているが、「新しい生活様式」などの対応は検討しているのか。

**A** 3密対策は3分の2で、喫緊の感染予防対策として大切な事業です。

「新しい生活様式」については、各課でどのように進めていけば良いのか検討しています。オンラインが中心になるかと思えます。

ユアイ住宅建設  
(7月16日全協)

説明概要

◆経過

2月26日：令和2年3月定例会で一般会計補正予算承認（432万円）

6月12日：22日：南木首町全員協議会で審議

7月1日：経済観光常任委員会で現地を見ながら協議

委員会では、道路改良や安全面の考慮、単身用住宅のため定住政策の促進、他地区への建設の検討などの意見がありました。このことを検討したうえで配置図・断面図の資料を配布しましたが、また改めて諮りたい考えです。

豪雨災害

(7月16日)  
8月3日全協

説明概要

大雨による災害の概況は次のとおりです。

①. 7月16日全協

6月30日～7月1日および、7月5日～8日における豪雨災害では、災害箇所は、道路河川9箇所、水道水源1箇所、林道・公園3箇所の合計13箇所、修理修繕に670万円程度の費用を見込んでいます。

②. 8月3日全協

7月21日～22日および、7月23日～29日における豪雨災害では、災害箇所は、道路河川5箇所、水道管理道2箇所、農地水路3箇所、歴史の道1箇所の合計11箇所、修理修繕に485万円程度の費用を見込んでいます。(復旧は急を要するため、早急に専決対応をお願いしたい。)

質疑 豪雨災害関係

①. 7月16日全協

●災害情報

Q 7日夕方に大雨の予報も出ていたが、避難勧告が一旦解除された。解除の判断としては早かったのでは。

A 木曾川周辺の避難勧告ですので、水位が下がった時点で判断しました。

要望 関係機関の情報だけでなく臨機応変な対応を。

Q ダムの放流の事前連絡や放流時間の長さは。

A この春に利水関係者と協定が結ばれました。雨の状況により国交省からの指導や情報も来ますが、事前放流の取り決めの詳細はこれからです。

Q JR中央西線の運行状況など、防災無線放送のあとに音告端末で同じ放送が繰り返されるが必要なのか。

A 聞き逃し防止のためには必要と考えます。

②. 8月3日全協

●災害への対応

Q 木曾川右岸、大洞・伊勢小屋沢で濁水発生が見られた。流域の崩壊など県や森林管理署に調査をお願いしたい。

A 現在、調査・対応しています。

Q 梨子沢・大沢田川などの調査はしたか。

A 水道水源などは大きな問題がなかったことを確認しましたが、奥地は未調査であり、機会があれば県や国に調査をお願いしたいと考えています。

Q 町道和合妻籠線が通行止めとなった原因の一つに、空家が崩れ側溝を塞いだことがある。今後の対応は。

A 現在、土のうを積んで応急対応しています。空家の家主とは数年前から連絡を取っていますが、今

●避難所

Q コロナ禍での災害対応として、地域が自主的に集会所などを避難所とした場合の支援などは。

A 分散避難等が言われている中で、地区での自主的な避難所開設は良いと思います。しかし、職員の派遣や支援についての課題など、今後の検証が必要と思われます。

要望 川向地区では橋を渡って南木曾会館まで行くのは危険だと判断し、集会所を避難所とした。物資、備蓄品などの支援をお願いしたい。

Q 避難所の暑さ対策、また昨年度購入したスポットクーラーの現状は。

A 各分館の1～2部屋にエアコンの設置を考えています。スポットクーラーは、保育園・小中学校・分館などの町施設に配置されています。分館長主事会議の時などに利用方法を説明しています。

回の事情も説明して、対応を強く求めたいです。

要望 空家等対策協議会など早急に開催し、空家が人災に繋がらないように対応を求めたい。

Q 妻籠と田立に新たに雨量計が新設されたが効果は。

A 災害対応などに役立っています。

要望 町のホームページなどで、降雨データが多くの住民に伝わるよう工夫してほしい。

●長雨による農業への影響

Q 長雨による不作で農家が大変困っている。対応策は。

A 農業共済などの利用を含め対応策を検討します。

Q 猿の農作物被害が例年より多いが新たな工夫は。

A 6月現在の猿捕獲数は例年と同じ10匹程度ですが、被害の多さは把握しており、早急に対応したいです。

説明概要

特別定額給付金

(7月16日全協)

5月18日より受付を行っている特別定額給付金は、7月10日までの累計で1079世帯の申請があり、4069名(4億690万円)の給付を行いました。7月15日時点での未申請世帯11件については、住民課と連携し民生委員の方へご協力をお願いして、申請の勧奨を進めているところです。



洪水時の木曾川(高瀬橋付近)